



和田の世帯数・人口

世帯数	1,519 戸
人口	4,219 人
男	2,058 人
女	2,161 人

(令和3年.11.1現在)

刃物の研ぎ方教室

第3回刃物の研ぎ方教室が8月22日(日)和田公民館でコロナ感染対策をした中、行われました。

前半、講師和田商工親和会会長の上條さんの説明で刃物に関して座学で学び、後半は上條さんともう一方居酒屋「壺匠」の刈間さんを講師に刃物を研ぐ実習を行いました。今回包丁を研いでみて仕上がりに少し時間がかかりましたが、研がれた包丁を見て達成感を感じてうれしくなりました。他にも包丁の使い方によって刃こぼれがおきるという事を聞いて日頃から大切に扱おうという気持ちになりました。



刈込ばさみを研ぐ方も
2 回目の参加で今回も大変勉強になった教室でした。ありがとうございます。蘇我 田中

椅子ヨガ講座に参加して

10月16日(土)、和田公民館で椅子ヨガ講座が開催されました。参加人数は10人程度でしたが、感染対策をしっかり行って開かれました。

今回の椅子ヨガ講座では、どの家庭にでもある椅子を使いたい初めての方でも簡単にできるということだったのでやってみようと思えました。私自身はヨガ自体が初めてだったので、椅子に座りながらの難しさというところも、膝・太ももの裏を伸ばしたりと同じ姿勢で数分間保つなど無理なく出来るので多少の筋肉痛になりましたが、ちょっとした運動になったので良かったと思います。

まだコロナ禍の状況が続いています。密になることを避けるため体を動かすようなイベント



チューリップの球根を植える
講師は窪田久子さん。とても丁寧な説明をして下さり、花の知識がほとんどない私でも要点を理

秋の寄せ植え講座

赤羽
いでも出来るものなのでこれを機に始めてみるのもいいかもしれません。

秋の寄せ植え講座」が行われました。

前日の予報で少し天気心配でしたが、当日はひんやりと気持ちの良い風の吹く晴天に恵まれました。



個性豊かな寄せ植えが完成

解しながら、楽しく植える事が出来ました。
まず初めに、くじ引きでプランターと花を決め、先生のお手本を見た後、各自作業をしていくという流れでした。植えたのは、パンジーやビオラ、アイビー、それからチューリップの球根等々。花によって植え方に注意点がありつつも、各々自分の好きな配置でプランターを飾るのを楽しんでいらつしやる様子でした。
最後に今後のお水や手入れの仕方等も教えて下さり、とてもポリウムのある一時間になりました。
コロナで外出があまり出来ない為、お家から出る機会が減っている今、お家の庭でも楽しめる寄せ植え。これを機に、私も始めてみようと思える、素敵な体験でした。

遠山

和田地区一斉清掃

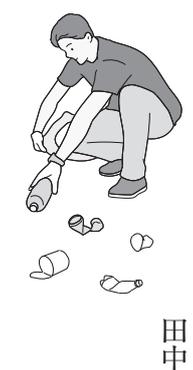
蘇我地区

9月26日(日)、朝から雨降りの中、蘇我地区にて環状高家線の清掃が行われました。

名鉄運輸付近からクボタ農機建物辺りまでの間を、各常会(6班)ごと分担して歩き、落ちていたゴミ等拾い集めていきます。春、夏2回行われますが、缶やペットボトル、たばこなど多くのゴミが散乱していることに毎回驚きます。



多くは車からのゴミ捨てだと思っただけですが、この1個のゴミを拾う為に多くの人の時間が使われているという事を知っていたら、もう少し手に持ったゴミ袋の量も変わってくるのかなと思いつつ歩くと朝日の中



田中

和田の寺社⑤

観音寺

(中)

松本市郊外の小さな寺。真言宗普門山観音寺。古文書には金光山とあります。本尊は聖観音菩薩立像。諸尊は不動明王像薬師如来像(もと中村薬師堂より移る)毎年11月に中区の役員の方が集まりお祭りをしています。

一見古い農家と見間違ふ寺ですが、神仏習合時代の象徴である由緒ある銅鏡がご本尊として祀られています。

藤原道実と銘の入ったこの銅の鏡は、明治新役の仏像や、本尊の破壊に走った廃仏毀釈の狂乱を生き延びて、今にその姿をとどめています。ひとつの奇跡だと言っていると思います。

この寺は私の兄、朝日村の古川寺が管理している空き寺でしたが、昭和63年に東京から移り住んで、ボロボロだった寺をなんとか修復しました。

山深いアルプスの麓の寺、玉泉寺の



藤原道実と銘の入った銅鏡

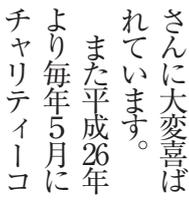
山深いアルプスの麓の寺、玉泉寺の

三男として生まれ、東京で染色工芸作家として活躍していましたが、職業病になり仕事が出来なくなり兄の勧めで観音寺に入る事になりました。お寺の修行を終え、今は古川寺と一緒に観音寺の仕事をしています。

観音寺は空き寺だった為来た時は檀家さんは三軒しかなく、食べていくには大変でした。職業病になった時ビワ温圧療法に出会い病院では治らなかつた病気が治りました。その時、ビワキユーを生涯の仕事にしようという気持ちで定まりビワ療法師の資格を取得し今では32年になります。お寺から生まれた日本伝承医療を現在は自宅の寺の療教室で、ビワキユーの施術にあたっています。

平成20年よりペット葬も行っていきます。ペットの納骨堂には犬、猫、うさぎ、鳥、猿、カメレオンなど様々な動物達が眠っており皆さんに大変喜ばれています。

また平成26年より毎年5月にチャリティイコ



また平成26年より毎年5月にチャリティイコ

ンサートを行っています。東日本大震災発生から2ヶ月後に被災犬のジョンを引き取った縁で、その家のグランドピアノが本堂に搬入されました。地元有志サークルや音楽家の方々ですばらしい演奏が行われます。6年間続きましたが、コロナの為2年中止となりました。早くまたコンサートが出来ることを祈ります。

誰でも気軽に立ち寄って、お茶でも飲んでいける様な観音寺にしたいと思っております。

観音寺 笠原

若鷹祭

観音寺 笠原

今年も去年に引き続きコロナ禍のために文化祭も一日開催になってしまいました。

今回の若鷹祭テーマは「結束〜つながる手と手 はばたけ若鷹〜」です。

ほとんど毎日クラスで若鷹杯に向けて練習をしましたが、一番難しかったのは、クラス対抗全員リレーの走る順番を決める事でした。どうすれば1位をとれるか全員で意見を出しながら慎重に考えましたが、当日惜しくも2位という結果となってしまいました。

次にクラスで大縄跳びをしました。本当は5分でやる予定でしたが、雨が少し降って

いて4分でやることになってしまいました。結果は、316回で1位になることができた。2位とは1回差で勝つことができました。

表彰式のときに、総合優勝の発表で同率1位になりました。この結果は、クラス全員で協力してつかみとった1位だと思えます。

今回のテーマ「結束〜つながる手と手 はばたけ若鷹〜」ということでクラス全員で協力をして全力で戦い、おもしろい楽しいことができたので良かったです。

F・S

UPDOWNの収穫体験

1・2年生7名が収穫体験に参加しました。体験前に話をきくと「うちの畑にもとうもろこしあるよ。」「おじいちゃんがたくさん作っているよ。」「子ども達の身近に畑(とうもろこし)がある事が伝わってきました。しかし、実際に収穫した事はない様で、とても楽しみにしている様子でした。

畑に着くと、自分の背の倍ほどもある畑一面のとうもろこしにびっくりした子ども達。「これ全部採っていいの?」と目を輝かせていま

た。まずとうもろこしの採り方を教わり、それから自分で採ってみました。「採れたよ!!」「大きい!!」と大興奮の様子。そのうちに「こっちゃんもあるよ。」「一緒に持って行ってあげるよ。」「これも採って。」と次第に友達と協力する姿も見られ、その普段と違う子ども達の姿に、たくましさすら感じたひと時でした。両手一杯にとりもろこしを抱え、「お父さんお母さん喜んでくれるかな。一緒に食べるんだ。」と笑顔の子ども達が印象的でした。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

編集後記

コロナ感染警戒レベル1となり、感染者数も減ってきています。

ワクチン接種も促進し、県内ワクチン12歳以上の1回目接種率84・7%、2回目接種率74・0%だそうです。

いつ終息するか、まだ先が見えなく不安でストレスとあった精神的負担もあります。が心の健康も大切ですので、好きな事、楽しい事や日常生活を送れたらいいな...と思っております。

西原 北澤